

町 長	副町長	院長	副院長	事務長	事務次長	合 議

別記様式第4号

病院運営審議会 報告書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文 書 番 号	
		決 裁 期 日	
名 称	平成25年度 第1回 上富良野町立病院 運営審議会		
日 時	平成25年5月29日(水) 午後6時00分から午後7時00分まで		
場 所	役場審議室		
出席者	町長、北川委員長ほか委員4名、事務長、次長、狩野主査、長谷川主査		
内 容	1 委員の任命と委員長と副委員長の選任		
	町長から、北川昭雄氏、鎌田孝徳氏、岡和田淳氏、松岡龍雄氏、三好勝枝氏を任命し、委員の互選により、委員長に北川昭雄氏と職務代理に鎌田孝徳氏が選任された。		
	2 町長と北川委員長のあいさつ後、次のとおり審議をした。		
	平成24年度病院事業会計決算概要について		
	患者数と利用者数の状況		
	・入院・入所者数は、一般病床 9,448 人、介護療養型老人保健施設 9,321 人となり、合計 18,769 人で、前年対比 271 人の減となった。		
	・外来患者数は、30,556 人、前年対比で 2,056 人の減となり、入院・入所者数と外来患者数を合わせた患者数・利用者数の合計は 49,325 人で、前年対比 2,327 人の減となった。		
	収益的収支について		
	・病院事業収益の状況は、収益総額は 829,635 千円、前年対比で 6,534 千円の増となり、一般病床の入院患者数は前年対比 3.8% の減となり、入院収益は 243,034 千円、前年対比で 10,038 千円の減となった。		

- ・介護療養型老人保健施設の入所者数は前年対比 1.2%の増となり、介護報酬の改定で基本サービス費が一日あたり 690 円の単価アップがされたことにより老人保健施設事業収益は 137,078 千円になった。
- ・外来患者数は、長期投薬により患者数は減少したが、外来収益は、血液腫瘍外来のがん治療などで、190,924 千円、増なった。
- ・病院事業費用では、出張医師の派遣回数の減少により、給与費の報酬と経費の賃借料が減となり、関連して、常勤医師の当直の回数が増えたことにより、給与費の手当が増となった。
- ・入院患者数の減に伴い、材料費の診療材料費が減となったが、がん治療の処方により材料費の薬品費と燃料費についても価格高騰により増となった。
- ・収益的収支の状況は、病院事業収益は 829,635 千円に対し、病院事業費用は 813,577 千円で、前年対比で 3,493 千円の減となり、差引 16,058 千円の当年度純利益となった。

以上の決算の概要を説明した。

質疑については、次のとおり

- ・患者は減少しているが、薬品費が伸びている。(薬品費は、高額ながん治療薬の投与で増額となった。1 錠 8,000 円)
- ・町では、町立病院に 234 百万円を繰り入れているが、ほかにも、医療にかかる経費について。(広域で救急や小児科にかかる費用について負担している。)

## 2 上富良野町立病院の現状について

- ・別紙の資料で説明した。

地域の医療を守るため、コンビニ受診の排除について、引き続き住民に周知していく。